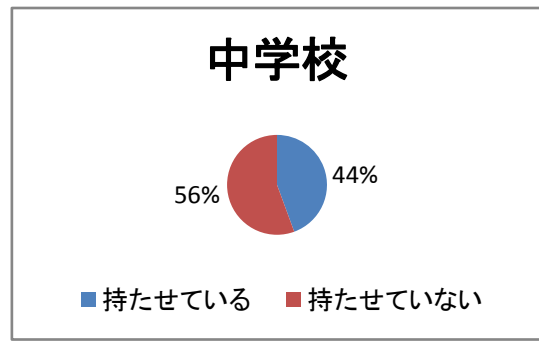
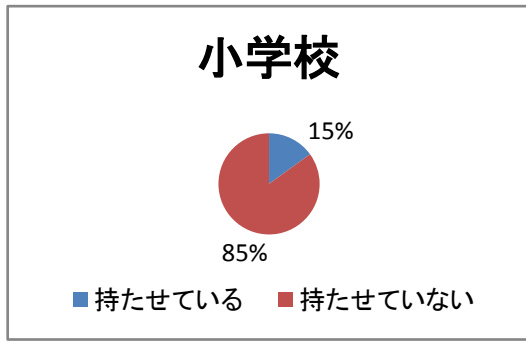


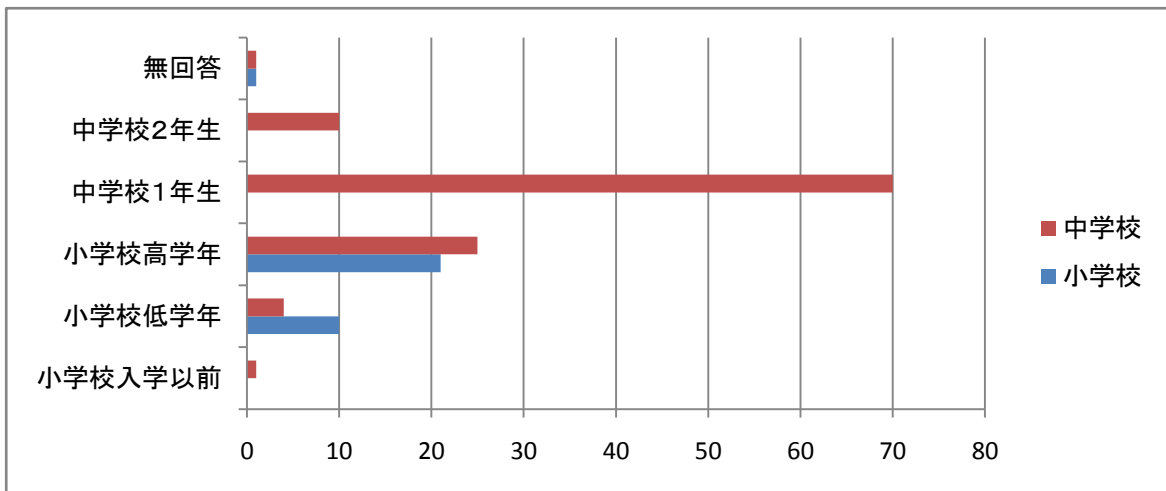
【設問1】お子さんに専用の携帯電話をもたせていますか？



＜分析および考察＞

子どもに専用の携帯電話を持たせている割合は、小学5年生保護者では15.0%、中学2年生保護者では44.4%である。小学生では、児童が「持っている」と回答した割合に近かったが、中学生では生徒が「持っている」と回答した割合より低くなった。これは、保護者の提出率が生徒に比べ低く、未提出者の中に「持たせている」保護者が含まれていると考えられる。

【設問2】いつ頃から携帯電話をもたせましたか？



＜分析および考察＞

小学5年生保護者では、「小学校低学年で持たせた」が31.3%、「小学校高学年」が65.6%、中学2年生保護者では、「小学校低学年で持たせた」が3.6%、「小学校高学年」が22.5%、「中学1年生」が63.1%、「中学2年生」が9.0%である。少数ではあるが、「小学校入学以前」という回答もあった。中学生保護者の回答より、中学1年生で携帯電話を持たせている割合が高いことから、中学入学がひとつの契機となっていることが推測できる。また、最近の傾向では、小学校低学年などの低年齢期から携帯電話を持たせることが高まりつつあるように思われる。